

花蕾粒の細かさが魅力!

ウィンベル ブロッコリー



【福島県白河地区の地域概況】

「白河の関」で有名な白河地区は、福島県中通り地方でも南部の地域です。東京都心部からの距離は200キロ弱で阿武隈川源流から湧き出る豊富な水をもとに、良食味米、新鮮な野菜などの食料を作り、首都圏の台所を支えています。

中でも春ブロッコリーは133ha(平成22年)と栽培面積が広く、収穫は早朝を中心に行っています。春と秋の年2作の栽培をしています。また、鮮度保持を目的に氷詰め出荷も行っています。



白河地区のブロッコリー

白河地区の作型

播種時期は2月の上中旬以降で、3月下旬～4月上旬以降に定植を行います。収穫のピークは5月下旬～6月上旬となっています。

作型は大きく3段階に分かれ、

- ①90日タイプの早生種
- ②95～105日タイプの中早生種
- ③110日タイプの中生種

の3つのタイプが使い分けられ、「ウィンベル」は中早生種として導入されており。

2010年春の概況

白河地区での春ブロッコリー収穫期のピークは、例年ですと5月下旬～6月上旬ですが、2010年は春先の低温の影響で1週間～10日ほど遅れ、早生種ではボトニングが目立ちました。「ウィンベル」は105日タイプの中早生種で、低温の影響を受けにくく、安定したA品率を確保することが出来ました。



他社品種

花蕾の細かさが自慢の「ウィンベル」

生産者の声

- ・花蕾の粒がとても細かく、触った瞬間にその粒の細かさから「ウィンベル」だとすぐにわかる。
- ・「ウィンベル」を詰めたダンボールを持つと重量感があり他の品種とは異なる。
- ・ボトニングの発生が少なく、収穫期を通してA品率が極めて高い優れた品種である。

皆様の産地・地域でも
ぜひお試し下さい!